

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援事業なでしこ				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・人数や活動により備品等の配置換えを行い安全確保しています。 ・2部屋の保育室やセンター内ホール・テラスを定員数や活動に合わせ利用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・規定職員は配置できています。 ・並列事業の職員の協力も得て支援を行うこともあります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・利用児の状態に合わせその都度環境整備をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・登園前、降園後の環境整備を行い、また使用したおもちゃ、物品等の清拭を行い、保育室は紫外線雑菌機を使用しています。 ・遊びや活動に応じてセンター内のホールやテラスを利用して有意義に安全に行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・2部屋の保育室を利用し、利用児の状態に合わせて個別、集団で使用できるよう環境整備を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・保育後の振り返りや活動前の打ち合わせにより、各職種との連携を図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者による事業所評価を基に職員全体で保護者の意向を把握し業務改善に取り組んでいます。 ・保育内容や生活習慣などで取り組んで欲しい支援内容について、ご家族の意見を参考に次年度のカリキュラムに反映させより良い支援につながるように改善しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・振り返りや業務会議等で話し合い、職員全体で把握確認し、業務改善つなげ実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・各職種の専門性の向上を目指し、内部・外部研修への参加を積極的に行っています。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムは年間、月単位でねらいや活動内容を可視化し掲示しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者へのモニタリングと利用児の発達状況からアセスメントを行い、利用児・保護者のニーズを踏まえて支援計画に反映することに努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・アセスメントを基に関わる職員と支援者会議を行い、共通理解下で、検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・カンファレンス等で共通認識を図っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・発達検査やリハビリからの情報等を参考にしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援ガイドラインに則、多職種の視点も踏まえつつ具体的な支援内容を提示しています。	

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは、保育士のみではなく、看護師、セラピスト等、様々な視点からの意見を取入れ立案を行うようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間保育計画に則、保育活動を行っています。季節を感じる活動や交流行事の開催など普段とは違う活動経験する機会を取り入れています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・利用児の個性に配慮し、個別・集団に分けアセスメントを行い計画を立案しています。また、日々の利用児の様子に合わせて個別・集団の生活の展開を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・当日に保育活動に関わる全職員（保育士・看護師・セラピスト）で利用児の確認活動のねらい、姿勢設定等確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・毎日終了後、職員間で振り返りを行い、次の活動に活かせるように努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・電子カルテに記載し活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・モニタリング時期を設け、計画的に支援者会議等を開き見直しを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・支援を行っている職員（保育士、看護師）児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・随時見学の受け入れ、カンファレンスや情報共有（Zoom等）を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・25の回答と同じ	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・25の回答と同じ	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・同法人のセンターと常に連携を図り、支援の向上に努めています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・地域子育て支援センターの情報誌や利用児の通う園の開放保育などのお知らせを掲示しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳などの記載や送迎時等に相談しやすい人間関係の構築に努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・等組織内の児童発達支援センターふたばで開催される家族支援プログラムへの参加を推進しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・相談しやすい人間関係の構築に努め、内容によっては多職種で支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			・父母の会や保護者会等を当事業所では開催は行っていませんが、保護者、きょうだい交流は同法人の児童発達支援センターふたばと合同行事を行っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○				・インスタやラインを活用することで迅速に情報発信が行えています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			・コロナ禍以降地域住民を行事には招待していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○				・防災訓練は年1回・緊急時対応は夏季に事例をあげ職員間で実施しています。保護者へは掲示物によりお知らせをしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○				・インシデント内容を電子カルテに記載し法人内で共有するとともに部署内のミーティングで報告しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○				・研修または報告会の参画を行っています。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				・個別支援計画作成時等に保護者へ説明確認を必ず行っています。	